

プラセンタ注射（メルスモン®）のご案内

プラセンタ注射はヒト胎盤を原料としており、多種のアミノ酸を含む注射薬です。

更年期症状の改善やアンチエイジングなどの効果が期待でき、当院では『メルスモン®』という薬品を使用しております。メルスモン®は国内の安全なヒト胎盤を原料とした薬品です。

《保険診療でのプラセンタ注射》

費用：3割負担の方で約600円

※1回当たりの使用量は1アンプルです。

期待できる効果

更年期障害の症状改善

（のぼせ・冷え・不眠・イライラ感・頭痛など）

《自費診療でのプラセンタの効果》

費用：1アンプル当たり1,100円

※自費診療では1回の使用量制限はございません。

期待できる効果

エイジングケア シミ・しわ改善 美肌効果

肝機能の回復 抗アレルギー作用 など

副作用

主な副作用は、注射部位の痛み・発赤（赤くなる）・青あざや硬結（注射した場所が硬くなる）です。これらの副作用は通常2~3日で改善されます。

重大な副作用としてはショック・急性肝障害（60年間で数例の報告のみ）があげられます。

プラセンタ注射後になにか異変がありましたら医師へご相談ください。

ウイルスや細菌に関する安全性

製造過程において胎盤1ずつについてウイルス検査を実施し、B型肝炎・C型肝炎
エイズウイルス検査にて陰性であることが確認された安全な胎盤を原料としています。

さらに製造の最終段階に121℃・30分間の高圧蒸気滅菌を実施しており、病原体の感染防止対策をとっています。なお、これまでに本症によるウイルス感染の報告はありません。

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）に対する安全性

1980年代から2004年頃まで英国を中心に狂牛病が流行し、その肉の摂取が関連すると思われるvCJDの発症報告がありました。メルスモン®は、狂牛病が流行した時期にそれらの地域に滞在歴がある方の胎盤は原料としておりません。さらに製造工程で高熱処理を実施しているため、タンパク質は分解されています。

プラセンタ注射使用時の献血・臓器提供制限について

世界では輸血や移植による感染が疑われる報告もありますが、メルスモン®はこれまで感染症の報告はありません。しかし、理論的なvCJDなどの感染の危険性は完全には否定できません。

そのためプラセンタ注射を使用した方は献血をすることができません。

また、臓器提供についても、移植希望者が移植医から適切な説明を受けたうえで、提供を受ける意思を明らかにしている場合を除いて、原則控えることが求められています。